

教授

林 裕二

■ 学歴

1. 1993 年 西南学院大学大学院修士課程修了

■ 学位

1. 1993 修士（文学）

■ 研究分野

1. 英語学
2. 比較文化学
3. 文学

■ 研究キーワード

1. 統語論
2. 会話分析
3. 翻訳

■ 研究課題

1. 映画、会話、小説等の文学を対象とする談話分析。
2. 英語と日本語の呼び掛け語の体系を比較考察する。

■ 担当授業科目

1. 入門英語通訳ガイド演習（前期）（観光文化学科）選択
2. 基礎英語（前期）（観光文化学科）必須
3. 北九州の技と文化（前期）（看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科）選択
4. 初年次セミナー I（前期）（観光文化学科）必須
5. マルチメディアイングリッシュ基礎（前期）（観光文化学科）必須
6. 中級日本語（前期）（観光文化学科）必須
7. 人文学入門（前期）（英語学科・観光文化学科）必須
8. 応用英語（後期）（観光文化学科）必須
9. 応用英語通訳ガイド演習（後期）（観光文化学科）選択
10. マルチメディアイングリッシュ応用（後期）（観光文化学科）必須
11. 上級日本語（後期）（観光文化学科）必須

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|-------------------------|
| 1. | 授業科目名【マルチメディアイングリッシュ応用】 |
|----|-------------------------|

	一人一台の PC 利用ができる情報処理室の機能を利用して、英語に学生が接触するコンタクト時間を増やすことを目指し、アクティブな活動に従事させた。一つの学年の全員が受講しており、教員が学生一人一人に接する場面と、例えば PC の音声入力で英語の会話能力の基礎を鍛えるようなオンライン活用の場面とを組み合わせ、授業の効率化に取り組んだ。
2.	授業科目名【中級日本語】 留学生の必修科目であり、二名の受講生である。受講生の弱い箇所－助詞－の知識、運用能力を強化するためにフォーマルな文章からユーモアのある柔らかい文章まで、色々な文章を読ませ、要約させ、発表させるというサイクルで学ばせた。
3.	授業科目名【入門英語通訳ガイド演習】 英語通訳ガイドがよく使う定型表現に慣れるために、予習でかなりの量のディクテーションをさせて、オンラインで提出させた。それを授業で PPT で示して、どこが強化すべき点なのかを意識させた。音読のペア学習、正解の根拠を論理的に回答させて、分かりやすく発表する力を養成した。
4.	授業科目名【初年次セミナー I】 総合人間学の科目であり、新入生対象である。内容のある、フォーマルな文章を読み、要約して、発表するというパターンを繰り返した。文章は新聞の社説から学生に選ばせた。「新聞の社説とは何ですか」の段階から指導を始めて、新聞等の印刷物を読む習慣を身につけさせようとした。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1993 年 6 月～現在に至る	国際ビジネスコミュニケーション学会	査読委員（2016 年 10 月～現在に至る）
2.	2010 年 2 月～現在に至る	日本比較文化学会	理事、事務局長（2018 年 5 月～現在に至る 2024 年 5 月）
3.	1996 年 10 月～現在に至る	映像メディア英語教育学会	九州支部運営委員（2012 年 1 月～2024 年 3 月）

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					

1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2025年2月	Kazuo Ishiguro Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall の Come Rain or Come Shine の二人称に ついての考 察	単	日本比較文化学 会九州支部大会 (於 : SAWARAPIA (ももち文化セ ンター)	小説の登場人物3名の会話における呼 び掛け語の統計を取り、それぞれの会話 の場面に特定の呼び掛け語のパターン があることを考察して、呼び掛け語が社 会的関係を規定するものの一つである ことを示した。
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究					
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)	
1.					
2.					
3.					

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

任 期	団体・委員会等の名称	役 職 名 等
-----	------------	---------

	期 間 等	(内 容)	
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2022 年 4 月～現在に至る	人事委員会	委員長（2024 年 4 月+2025 年 3 月）
2.	2022 年 4 月～現在に至る	大学キャンパスハラスメント防 止・対策委員会	副委員長
3.	2022 年 4 月～現在に至る	倫理審査委員会	副委員長
4.	2024 年 4 月～現在に至る	FD 部門	副委員長